

小城市公共施設等総合管理計画 個別施設計画（案）

11. その他施設

令和3年2月

【主管課】

総務部財政課

市民部環境課

産業部商工観光課

建設部都市計画課

教育委員会文化課

1. 個別施設計画策定の趣旨及び概要

(1) 公共施設等総合管理計画の目的・理念

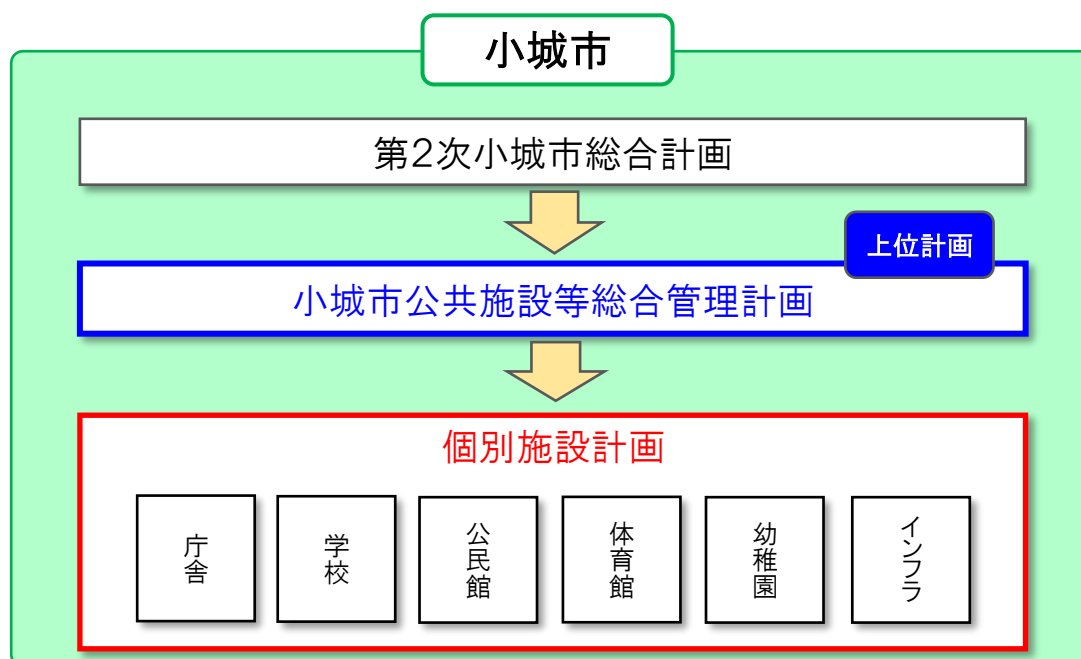
平成 20 年（2008 年）から全国的に始まった人口減少が今後、加速度的に進むと予測されていく中で、小城市は、若者の流出や少子高齢化による人口減少が進展していきます。その中で、小城市が所有する公共施設等は、これから大量に更新時期を迎えます。これは、全国の自治体でも同様であり、平成 25 年 11 月にはインフラ老朽化対策の推進に関する関係省庁連絡会議において「インフラ長寿命化基本計画」が示されました。また、平成 26 年 4 月には各地方公共団体が所有する公共施設等の全体状況を把握し、地方公共団体を取り巻く現況及び将来の見通しを分析し、これらを踏まえた公共施設等の管理の基本的な方針を定めることを内容とする「公共施設等総合管理計画」の策定を行うよう総務省が各地方公共団体に要請をしています。

小城市においても、公共施設等の全体を把握し、長期的な視点を持って、更新・統廃合・長寿命化などを計画的に行うことにより、財政負担を軽減平準化するとともに、公共施設等の最適な配置を実現することが必要となっています。

個別施設計画は、公共施設等の最適な配置を実現するための各種方針を策定するため、インフラを含めた公共施設等の全体状況を把握し策定した『小城市公共施設等総合管理計画』（以下「総合管理計画」という。）に基づいて各施設目的別に作成したものです。

(2) 小城市公共施設等総合管理計画及び個別施設計画の位置づけ

総合管理計画は、小城市における公共施設等に関する計画の中で最高位の計画と位置づけています。その総合管理計画に基づき、個別施設または施設用途別ごとに、具体的な取り組みを実践していくために個別施設計画を策定します。



2. 施設の概要等

(1) 施設概要

施設名	所在地	延床面積 (㎡)	構 造	取得年度
旧小城庁舎北別館	小城町松尾 4032-5	393	2 階建 鉄筋コンクリート造	1998
旧小城庁舎西車庫 ※2015 解体	小城町 253-1	106	1 階建 鉄骨造	1972
旧小城土木事務所 跡地倉庫	小城町畑田 2626-5	366	1 階建 鉄骨造	2003
勤労者福祉会館 ※2015 解体	小城町松尾 4032-3	194	2 階建 木造	1977
ほたるの郷	小城町岩藏 81-24	78	1 階建 木造	1994
清水倉庫	小城町松尾 2291	103	1 階建 木造	2013
小城駅	三日月町久米 2083	231	1 階建 木造ほか	2014
織島倉庫	三日月町織島 2769-2	456	2 階建 鉄骨造 ほか	2004
プレハブ倉庫	三日月町長神田 1845	60	2 階建 軽量鉄骨造	1993
小城市廃棄物中継 センター	牛津町柿樋瀬 1174-16	730	2 階建 鉄骨造 ほか	2010
旧牛津庁舎周辺倉庫	牛津町柿樋瀬 1100-1	194	2 階建 鉄骨造	1973
旧牛津庁舎周辺車庫	牛津町柿樋瀬 1100-1	97	1 階建 鉄骨造	1973
旧牛津庁舎周辺体育館北車庫	牛津町柿樋瀬 1100-2	97	1 階建 鉄骨造	1997
体育館北プレハブ倉庫	牛津町柿樋瀬 1100-2	34	1 階建 鉄骨造	1995
文化財倉庫①（名称は仮公民館で登録）※2015 解体	牛津町柿樋瀬 1100-2	59	1 階建 軽量鉄骨造	1992
文化財倉庫② ※2015 解体	牛津町柿樋瀬 1100-2	20	1 階建 軽量鉄骨造	1990
文化財倉庫③（名称は倉庫で登録）※2015 解体	牛津町柿樋瀬 1100-2	50	1 階建 軽量鉄骨造	1990

旧芦刈庁舎 ※2015 解体	芦刈町三王崎 346-2	2,096	2 階建 鉄筋コン クリート造	1978
旧芦刈庁舎倉庫 ※2015 解体	芦刈町三王崎 346-2	414	2 階建 鉄骨造	1981
旧芦刈庁舎車庫 ※2015 解体	芦刈町三王崎 346-2	115	1 階建 鉄骨造	1993
旧芦刈庁舎自転車 置場※2018 解体	芦刈町三王崎 346-2	51	1 階建 鉄骨造	1978
旧三条排水施設管 理舎	芦刈町三王崎 1983-1	90	1 階建 木造	2002
旧芦刈公民館	芦刈町三王崎 318-1	610	2 階建 鉄筋コン クリート造	1968

3. その他施設の推進計画

(1) 施設計画

総合管理計画における今後 25 年間の方向性は別紙施設計画によります。削減目標は、市全体保有量（延床面積）の 5 %としておりますが、他施設と調整を図りながら計画を進めていきます。

(2) 計画期間

総合管理計画では、令和 48 年度（2066 年度）までの 50 年間の将来予測推計に基づき、今後 25 年間の方向性を策定しております。

この個別施設計画は、令和 2 年度を初年度とし、段階的に取り組む必要があることから、第 1 期間として当面 10 年間とします。（既存計画等に従い進めるものは、この限りでなく、その他、社会経済情勢やまちづくりの動向等に大きな変化が生じた場合は、必要に応じて適宜見直しを実施することとします。）

4. 取組方法

(1) 個別施設計画の管理

個別施設の実施計画は事務事業を通して遂行されるため、施設所管部署が主体的に実施します。また、PDCAサイクルによる進捗管理を行い、適宜計画の見直しを行います。

(2) 実施計画の内容

実施計画の検討・策定・実施にあたっては、実務的な整理や整備手法（PFI/PPP 等）の検討を行うとともに、市民説明会の開催や関係者との協議など、市民や議会、関係機関等と情報を共有し意見を聞きながら進めます。

その他施設個別施設計画

中分類又は施設名	その他施設						
担 当 課 名	財政課						
施 設 名	所在地	取得 年度	敷地 面積 (㎡)	延床 面積 (㎡)	最大 階数	単独 複合	主な機能の考え方（現状と課題）
旧小城庁舎北別館	小城町松尾4032-5	1998	885	393	2	単独	施設は、昭和49年に県の農業改良普及所として建築された施設である。その後、平成10年度に組織統廃合にて施設閉鎖となり、小城町が取得した。主な機能としては、各階に執務室のほかに会議室1室、和室1箇所、倉庫4箇所、トイレ1箇所（男女1箇所）などがあり、現在は、小城市体育協会、小城市勤労者福祉協議会が事務所を構え、小城市観光協会が倉庫を利用している。 建築から46年が過ぎ、建物の老朽化が進んでおり、他の用途廃止施設の利用、規模縮小、集約化の検討と利用団体との調整が必要である。
旧小城土木事務所跡地倉庫	小城町畑田2626-5	2003	1,566	366	1	単独	施設は、小城土木事務所の車庫及び倉庫として昭和43年に建築された施設である。その後、平成15年度に県事務所の再編により、小城土木事務所が閉鎖されたことにより、小城町が取得した。主な機能としては、資源物回収所として利用しており、一部を資材置場として利用している。 建築から52年が過ぎ、建物の老朽化が進んでおり、他の用途廃止施設の利用、規模縮小、集約化の検討が必要である。
ほたるの郷	小城町岩蔵81-24	1994	-	78	1	単独	施設は、平成6年にほたる資料館として建築された施設である。その後、平成14年度に、小城町農産物直売所利用組合ほたるの郷が国の補助事業を活用して施設を増築し、農産物の直売所として現在利用している。 建築から26年が過ぎ、建物の老朽化が進んでいるが、ほたるの郷が増築した建物部分があるため、ほたるの郷との調整が必要である。
織島倉庫	三日月町織島2769-2	2004	1,581	456	2	単独	施設は、現佐賀県農業協同組合にて織島出張所として昭和59年に建設され、その後、織島出張所が閉鎖された後、平成16年に三日月町が購入した。 主な機能としては、事務所1室、和室2室、トイレ1箇所（男女1箇所）、2階建ての倉庫がある。主な利用内容は、購入以前から、選挙の投票所として利用しており、町が購入後も選挙の投票所のほか通常は文化財の保管倉庫などとして利用している。建築から36年が過ぎ、建物の老朽化が進んでおり、他の用途廃止施設の利用、規模縮小、集約化の検討が必要である。

その他施設個別施設計画

中分類又は施設名	その他施設						
担 当 課 名	財政課						
施 設 名	所在地	取得 年度	敷地 面積 (㎡)	延床 面積 (㎡)	最大 階数	単独 複合	主な機能の考え方（現状と課題）
旧牛津庁舎周辺倉庫	牛津町柿樋瀬1100-1	1973	-	194	2	単独	施設は、牛津町の倉庫として昭和48年に建築された。小城市に合併後、本庁舎に移行し、庁舎機能が無くなった後、平成29年に倉庫として改修を行い、1階は資源物回収所として、2階は備蓄倉庫として利用している。建築から47年が過ぎ、建物の老朽化が進んでおり、他の用途廃止施設の利用、規模縮小、集約化の検討が必要である。
旧牛津庁舎周辺車庫	牛津町柿樋瀬1100-1	1973	-	97	1	単独	施設は、牛津町の車庫として昭和48年に建築された。小城市に合併後、本庁舎に移行し、庁舎機能が無くなった後、主な活用内容は、旧牛津庁舎周辺倉庫の資源物回収所と一体として利用している。建築後47年が過ぎ、建物の老朽化が進んでおり、他の用途廃止施設の利用、規模縮小、集約化の検討が必要である。
旧牛津庁舎周辺体育館北車庫	牛津町柿樋瀬1100-2	1997	-	97	1	単独	施設は、牛津町の車庫として平成9年に建築された。小城市に合併後、本庁舎に移行し、庁舎機能が無くなった後、平成28年に倉庫として改修を行い、水防倉庫として利用している。建築から23年が過ぎ、建物の老朽化が進んでおり、他の用途廃止施設の利用、規模縮小、集約化の検討が必要である。
体育館北プレハブ倉庫	牛津町柿樋瀬1100-2	1995	-	34	1	単独	施設は、牛津町の倉庫として平成7年に建築された。小城市に合併後、本庁舎に移行し、庁舎機能が無くなった後、選挙道具倉庫として利用している。建築から25年が過ぎ、建物の老朽化が進んでおり、他の用途廃止施設の利用、規模縮小、集約化の検討が必要である。

その他施設個別施設計画

中分類又は施設名		その他施設					
担 当 課 名		財政課					
施 設 名	所在地	取得 年度	敷地 面積 (㎡)	延床 面積 (㎡)	最大 階数	単独 複合	主な機能の考え方（現状と課題）
旧三条排水施設管理舎	芦刈町三王崎1983-1	2002	633	90	1	単独	施設は、三条排水機場の操作人の管理舎として建築された施設である。その後、平成14年度に用途廃止により、操作人の管理舎としての機能がなくなり、芦刈町が取得した。 主な利用内容は、借家住宅として運用している。 建物の老朽化が進んでおり、利用者との調整が必要である。
旧芦刈公民館	芦刈町三王崎318-1	1968	1,181	610	2	単独	施設は、芦刈公民館として昭和43年に建築され、平成21年に小城市芦刈地域交流センターに公民館機能に移り、用途廃止施設となったが、平成27年度から佐賀県有明沿岸道路整備事務所が利用している。 建築から52年が過ぎ、建物の老朽化が進んでいるうえに、建築基準法上の耐震性能を満たしていないため、佐賀県有明沿岸道路整備事務所との調整が必要であるが、将来的には廃止を行う。
今後の施設配置及び規模の考え方		活用目的がある施設については、目的が維持できるように最低限の補修を行っていくが、関係機関、利用団体と協議を行い、他の用途廃止施設の利用、規模縮小、集約化の検討を行い、活用の方向性を検討していく。					
上記の考え方に至った根拠・理由・検討過程等		今後も行政サービスを行うために不可欠である場合は、施設を維持していく必要があるため。					
今後の施設の方針		できるだけ長く利用できるように必要な修繕を行いながら維持管理を行っていくが、今後老朽化が進み使用できなくなった時には、原則廃止する。また、関係機関と協議の上、他の用途廃止施設の利用、規模縮小、集約化の検討を行い、活用目的を終えた施設については、廃止を行う。					

その他施設個別施設計画

中分類又は施設名	その他施設						
担 当 課 名	商工観光課						
施 設 名	所在地	取得 年度	敷地 面積 (㎡)	延床 面積 (㎡)	最大 階数	単独 複合	主な機能の考え方（現状と課題）
清水倉庫	小城町松尾2291	2013	420	103	1	単独	平成25年に、空き家となっていた土地・建物を市のイベント「清水竹灯り」の竹灯籠格納用として寄附を受け、現在はイベント時に使用する看板等を収納する倉庫として利用している。 昭和59年に建築され、建築から36年が過ぎ建物の老朽化が進んでいる。
今後の施設配置及び規模の考え方	倉庫として、当面は現在の施設を維持していく。						
上記の考え方に至った根拠・理由・検討過程等	イベント用の物品を保管する倉庫が他にないため。						
今後の施設の方針	家屋は必要最低限の維持補修を行い、倉庫として維持できる間は使用する。今後老朽化が進み使用できなくなった時には、用途廃止施設の活用、規模縮小、集約化を検討する。						

その他施設個別施設計画

中分類又は施設名	その他施設						
担 当 課 名	都市計画課						
施 設 名	所在地	取得 年度	敷地 面積 (㎡)	延床 面積 (㎡)	最大 階数	単独 複合	主な機能の考え方（現状と課題）
小城駅	三日月町久米2083	2014	3,081	231	1	単独	施設は、JR小城駅として明治36年に建築され、平成26年に駅舎は市が譲渡を受け改修、トイレは新設し、駅前広場としての施設となった。駅員室、待合室、トイレ（別棟に男女1箇所及び多目的1箇所）がある。 駅舎は、22世紀に残す佐賀県遺産として平成27年認定され、国登録有形文化財として平成28年登録されている。
今後の施設配置及び規模の考え方	駅前における安全かつ円滑な交通確保を図るとともに、観光及び人的交流の拠点として、市民の利便性の向上及び都市機能の増進に資するため、当面は現在の施設を維持していく。						
上記の考え方に至った根拠・理由・検討過程等	駅舎は市が譲渡を受け駅前広場と併せて整備を行った。今後も行政サービスの拠点として市民生活の向上を図るために必要な施設であるため。						
今後の施設の方針	できるだけ長く利用できるように必要な修繕や改修（大規模を含む）を行いながら維持管理を行っていく。						

その他施設個別施設計画

中分類又は施設名		その他施設					
担 当 課 名		環境課					
施 設 名	所在地	取得 年度	敷地 面積 (㎡)	延床 面積 (㎡)	最大 階数	単独 複合	主な機能の考え方（現状と課題）
廃棄物中継センター ピット	牛津町柿樋瀬1174-16	2010	7,777	253	2	単独	ピット棟本体は、平成22年度から市内一円から収集されたごみを受け入れ、大型パッカー車へ積替えを行っていた。今年度、破砕機を設置し、布団類などの可燃性粗大ごみを処理していく予定である。また、シューターコンベアについては撤去を行う。今後も使用可能な施設である。
廃棄物中継センター 管理棟	牛津町柿樋瀬1174-16	1980		179	1	単独	旧天山地区共同塵芥処理場組合が昭和55年度に建築し、平成22年度に小城市が取得している。管理棟内は、事務室1室、会議室1室、書庫1箇所、詰所1室、風呂1箇所、トイレ1箇所がある。建物は建築から40年が経過し、外壁の剥がれ、亀裂など老朽化が著しく進んでいる。
廃棄物中継センター 車庫棟	牛津町柿樋瀬1174-16	1980		275	1	単独	車庫棟は、管理棟同様、旧天山地区共同塵芥処理場組合が昭和55年に建築し、平成22年度に小城市が取得している。車庫棟は、車両5台収納できる。屋根、外壁ともにガルバリウム鋼板で覆われており、旧天山地区共同塵芥処理組合時代に数回塗装されている。今後も使用可能な施設である。しかし、全ての車両台数分の収納スペースは、確保できていない状況である。
廃棄物中継センター 外便所	牛津町柿樋瀬1174-16	1992		6	1	単独	施設は、旧天山地区共同塵芥処理場組合が平成4年度に建築し、平成22年度に小城市が取得している。管理棟の改築計画に伴い、解体・撤去する予定である。
廃棄物中継センター 休憩室	牛津町柿樋瀬1174-16	1995		17	1	単独	
今後の施設配置及び規模の考え方		中継センターとしての役割を終え、今後は市民の持込施設「リサイクルセンター（仮称）」としての機能充実のため、管理棟などの改築または改修が必要である。また従業員の詰所の広さが不足しており、レイアウトなどの検討を行いつつ、施設規模は現行と同等を予定したい。					
上記の考え方に至った根拠・理由・検討過程等		クリーンヒル天山の稼働（令和2年4月）以降は、中継センターへの事業系可燃ごみ（一部除く）の持込みがなくなったが、市民の持込は増加傾向にあるため、市民が利用しやすい施設へ改修していく必要がある。また、従業員総数約30名分が利用できるように、管理棟（外向け便所、簡易シャワールーム、詰所兼休憩室を含む）の検討を行う必要がある。さらに、昭和54年に建築、築40年を経過しており、外壁は崩れ落ち鉄筋がむき出しになっている箇所や、亀裂が入っている箇所が多数みられるため。					
今後の施設の方針		クリーンヒル天山は、令和2年4月から最低20年間は稼働することとされている。このため、20年間は市民の持込施設「リサイクルセンター（仮称）」として整備する必要がある。					

その他施設個別施設計画

中分類又は施設名	その他施設						
担 当 課 名	文化課						
施 設 名	所在地	取得 年度	敷地 面積 (㎡)	延床 面積 (㎡)	最大 階数	単独 複合	主な機能の考え方（現状と課題）
プレハブ倉庫	三日月町長神田1845	1993	-	60	2	単独	埋蔵文化財発掘調査の遺物保管施設。1階倉庫、2階整理室となっている。建築から28年が過ぎ建物の老朽化が進んでいる。
今後の施設配置及び規模の考え方	文化財保存施設として、当面は現在の施設を維持していく。						
上記の考え方に至った根拠・理由・検討過程等	文化財収蔵施設として、文化財保護に必要な施設であるため。						
今後の施設の方針	できるだけ長く利用できるように維持管理を行っていく。ただし、今後老朽化が進み使用できなくなった時には、他の用途廃止施設を活用することで廃止を検討する。						